

要望書

近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺整備事業について



※11/9に開催した市民歩行体験会「円形デッキ『まちを眺める上空のニワ』を一足先に歩行体験」の様子です。

約120人がデッキからの眺めを楽しむとともに、橋げたの床には「みんなの夢コーナー」と題して、メッセージを書いていただきました。

令和7年1月
四日市市

平素は、四日市市の政策にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、先月には補正予算の配分をいただき重ねて御礼申し上げます。

本市では、リニア中央新幹線の東京-名古屋間開通による「リニア時代」の幕開けに向け、中心市街地再開発プロジェクトを進めています。

国土交通省の強力なご支援のもと、近鉄四日市駅における駅前広場の再編やペデストリアンデッキの設置等による駅まち空間の再構築、近鉄四日市駅周辺からJR四日市駅に至る中央通り約1.6km区間の歩行者中心の街路空間への転換や都市公園の再編による居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの実現などの取り組みを鋭意進めているところです。

昨年3月には一部区間が完成するとともに、全線にわたって工事が本格化しており、令和7年度は歩行者デッキや都市公園などの工事が最盛期を迎えるとともに、スマート化の実装も予定しております。

また、市内外から多くの方が、工事中の円形デッキや完成した街路空間の視察をいただくなど、本市の取り組みに注目をいただいております。



11/22には、桁がすべて架かり、円形の姿を現しました。



3箇所の都市公園の内、市民公園においては、1月末に完成します。



完成区間ではキッチンカーなどが出店する歩行者空間活用の社会実験を行い、生まれ変わった中央通りを体感いただきました。【11/6～27】



完成区間や円形デッキの工事状況、自動運転車両等の実証実験の視察に市内外から多くの方がお越しになりました。【11/15 都市計画全国大会】

また、中央通りの再編に呼応して、沿道を中心にホテルやオフィス、マンションの建設といった大型の民間投資が相次ぐとともに、エリアプラットフォームによる未来ビジョンの取り組みが進むなど、まちなか再生に向けた機運が大きく高まっております。

つきましては、次の事項を強く要望します。

リニア時代の到来やまちづくりGX・DXなど人々のニーズが変化・多様化する中でも、市民や来街者の期待に応えられるよう、駅まち空間の再構築や居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの実現を官民一体となって推し進めていくために、引き続き、次の予算の配分について特段のご配慮をお願いします。

- 都市・地域交通戦略推進事業(防災・安全交付金、個別補助)
- まちなかウォークアブル推進事業(社会資本整備総合交付金)
- スマートシティ実装化支援事業

令和7年1月

四日市市長 森 智広



ホテル・オフィスの立地
(ウォークアブル推進税制活用)



建設中のオフィス
(2025年春完成予定)



エリアプラットフォームの取り組み
(空き地を滞在空間として活用)



オフィスの立地
(2021～2022年に建設)